

2020年度 フィールドワーク

# オリンピックとのつながり

世田谷区 駒沢・桜新町・用賀

18N1053 佐竹祐佳

→地図からこのまちの特徴を考える



1900年頃

- ・ 現在の東急田園都市線（当時；玉川電気鉄道）が1907年に開業
- ・ 現在に比べ道や建物が少なく、田や林などが目立つ





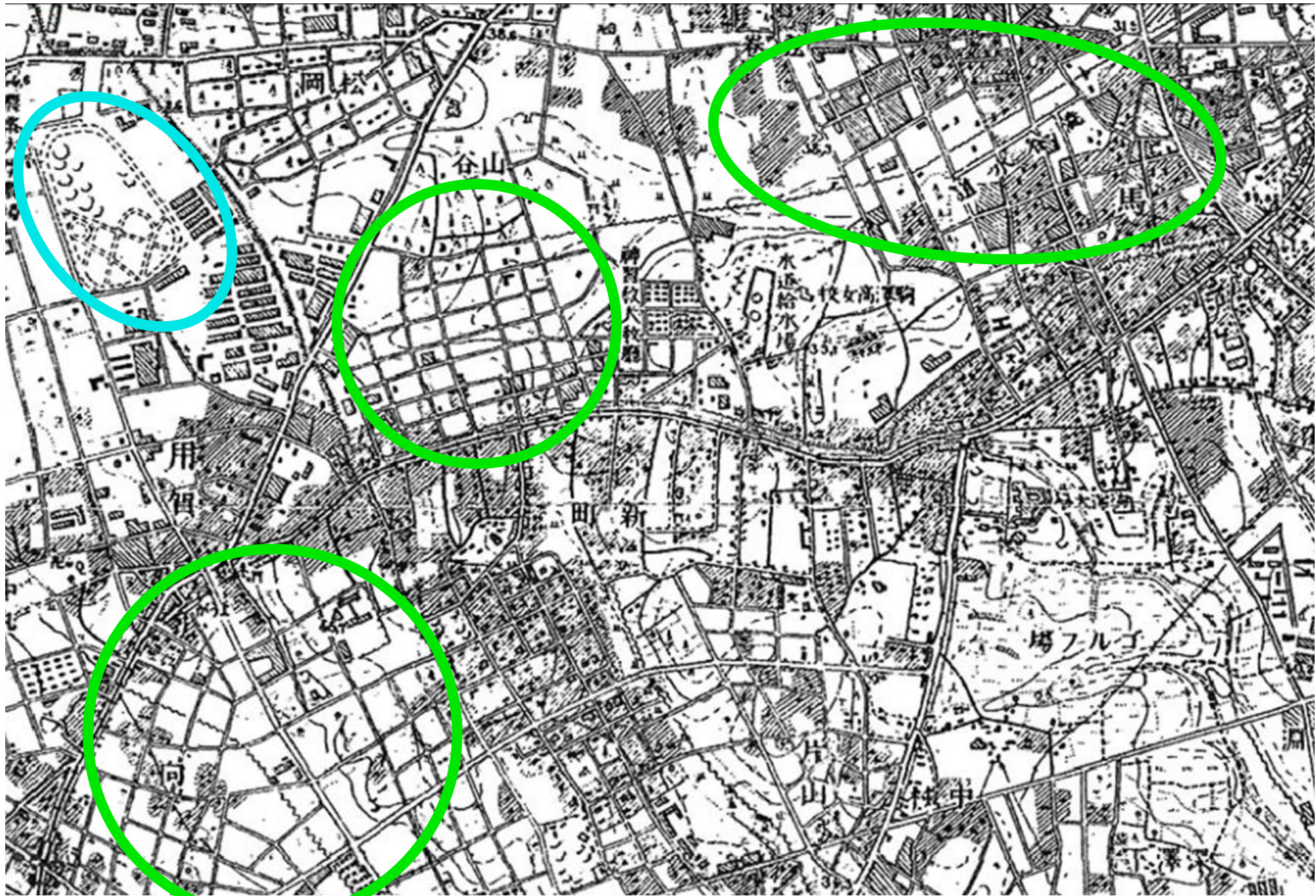
1930年頃

・ 一部道路が整備され、建物が増えた

・ 陸軍衛生材料廠ができる。(1929年)

・ ゴルフ場ができる





1945年頃

・ 区画整理が多くの場所で行われる

・ 馬事公苑ができる (1940年)





1965年頃

・ 国道246号線ができる

・ さらに区画整理がされ、住宅や学校が増える

・ 駒沢オリンピック公園ができる（ゴルフ場跡地）





1975年頃

・ 高速道路が開通（1969年東名高速道路開通・1971年首都高速道路開通、接続）

---

→このころには現在の地図とほとんど変わりが無いほど発展が進んでいる





現在



オリンピックや戦争など世界の歴史にも関係した施設があるということがこの街の特徴



- ①陸上自衛隊用賀駐屯地
- ②馬事公苑
- ③駒沢オリンピック公園

この3つの施設について詳しく調べる



# ①陸上自衛隊用賀駐屯地

旧陸軍衛生材料廠として設置

1946年 国立衛生試験所が神田和泉町の庁舎から移転  
(平成29年、川崎市「キングスカイフロント」に移転)

1963年 陸上自衛隊用賀駐屯地が開設

米軍の接收を経て1963年に開設され、陸上自衛隊衛生補給処が立川駐屯地から移駐された。1998年、中央補給処の統合・改編により、衛生補給処が陸上自衛隊関東補給処用賀支処に改編された。

旧軍時代から衛生材料の兵站中枢として現在に至っている。

→②③で紹介するオリンピック関連のものと反対で賑わいは見られない





## ②馬事公苑

1940年 東京オリンピックに向けて日本の馬術選手を育成する目的で開設

1964年 東京オリンピックでは馬場馬術競技の会場となる

2016年 2020年夏季オリンピック・パラリンピックに向けた会場整備に伴う工事のため休苑

馬事関係の多方面の利用と馬事思想の普及を図る公共施設として設置された。かつては国営競馬、日本中央競馬会 (JRA) の騎手養成所が置かれており、1982年に競馬学校が開設されるまでは中央競馬の騎手の養成が行われていた。

JRA馬事公苑馬術大会のような統合的な競技会など各種専門馬術競技会が定期的に行われており、関東における主要な馬術競技会場となっている。



正門



メインアリーナ



## 町とのつながり

子どもを連れてホースショーを観に行くのが楽しみだった  
フラワーガーデンが大好きだった  
夏に行われる「せたがやふるさと区民まつり」の会場だった  
(休苑前)

→休苑中の現在でも公苑回りをランニングしている人が多い



## TOKYO 2020

2021年に行われる東京オリンピック、パラリンピックでは馬術（障害馬術・馬場馬術・総合馬術（クロスカントリー除く））が行われる





### ③駒沢オリンピック公園

東京ゴルフ倶楽部ができる

1940年東京オリンピックのメインスタジアム建設が計画される

1938年 オリンピックが中止になり、空襲に備えた防空緑地や農地として使われる

1953年 駒澤野球場を建設

1949年 第四回国民体育大会用にハンドボールコートとホッケー場を整備

1958年 第3回アジア競技大会用にバレーボールコートを整備

1959年 第14回国体用の弓道場を整備

1964年 東京オリンピック第2会場となる

ユニバーシアード東京大会（1967年・バレーボール）、全国障害者スポーツ大会（2013年）、全国高等学校総合体育大会（2014年・女子サッカー）など各種大会の会場として使われた。

並行して、軟式野球上や水泳場、サイクリングコース、硬式野球場、トレーニング施設、オリンピックメモリアルギャラリーなどが整備された。





## 町とのつながり

イベント会場として利用されることもある（ラーメンショーなど）

→ジョギングコースやサイクリングコースがあり、特にランニングをしている人が多い  
公園の敷地内を道として通っている人も多い  
運動をする人以外でも子供から大人までにぎわっている



## オリンピック

1964年の東京オリンピックではバレーボール、サッカー、レスリング、ホッケーの会場として使われた

開催に伴い、オリンピック関連道路（環状7号、放射4号（国道246号）、補助127号・154号・49号（駒沢通り））が整備された

体育館には東京オリンピックメモリアルギャラリーがつけられている

東京2020オリンピック・パラリンピックの公式練習場として利用される（サッカー）



## まとめ

オリンピックの開催によって発展していった

1964年のオリンピックより前から施設はできていた  
(1940年オリンピックのため)

戦争の影響を受けている

(1940年オリンピックの中止、陸軍衛生材料廠など)

オリンピックで使われた施設はその後も大会やイベント会場として使われたり地域の人が気軽に訪れる場所となっている



この街の歴史は国際的なオリンピックと強く結びついている  
オリンピック開催による発展の後、会場は公園として多くの緑が残り  
地域の人々にとって訪れやすい憩いの場となっている

『オリンピックからつながるまち』ということがわかった



# 参考

地図（今昔マップ）

<http://ktgis.net/kjmapw/>

①陸上自衛隊用賀駐屯地

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%94%A8%E8%B3%80%E9%A7%90%E5%B1%AF%E5%9C%B0>

<http://www.nihs.go.jp/nihs/>

②馬事公苑

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%A6%AC%E4%BA%8B%E5%85%AC%E8%8B%91>

<https://tokyo2020.org/ja/venues/equestrian-park>

<https://komuken.com/setagaya-bazikouen/>

③駒沢オリンピック公園

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%A7%92%E6%B2%A2%E3%82%AA%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%83%E3%82%AF%E5%85%AC%E5%9C%92>

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2019/04/25/26.html>